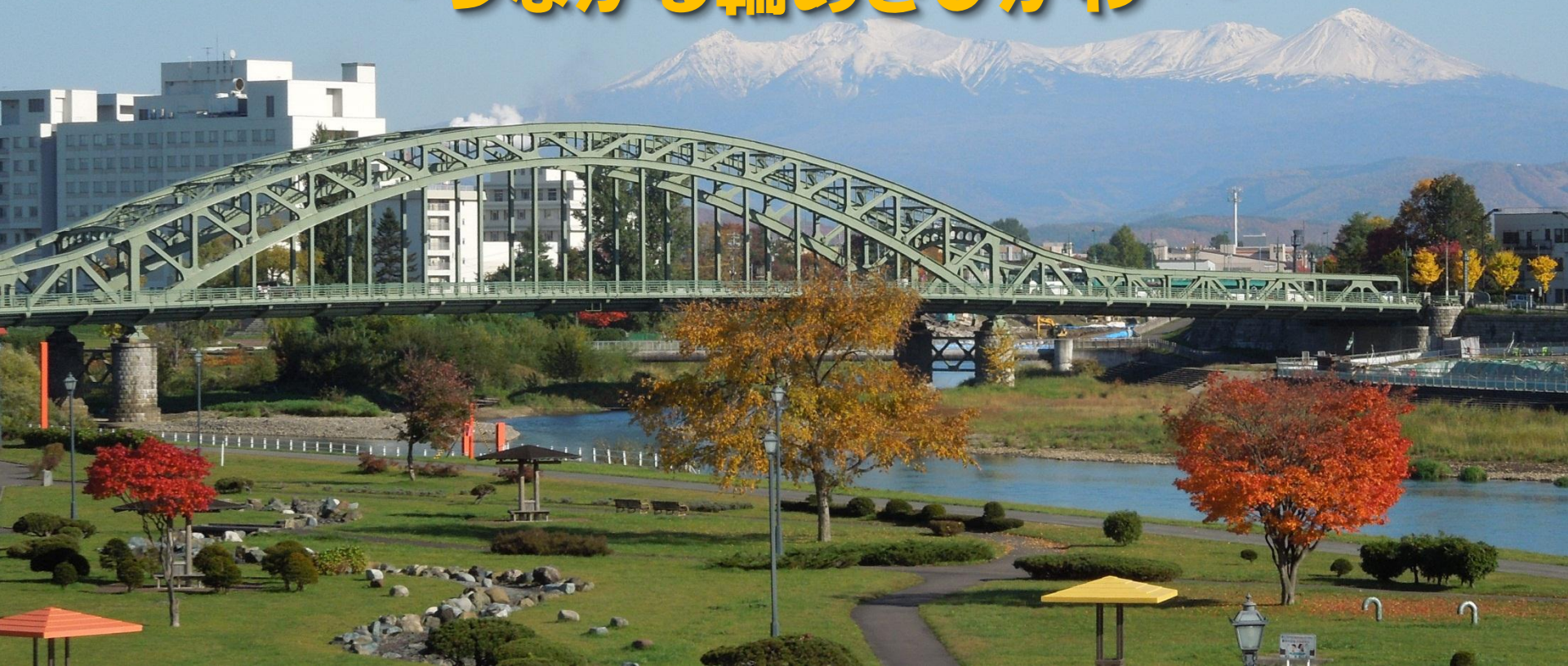


総合計画職員ワーキンググループ 提言書

～つながる輪あさひかわ～



はじめに

- * **職員ワーキンググループ**

- * **20部局22人**

- * **平成26年5月2日発足**

- * **主な取組**

- * **「地域資源・地域課題」の作成・市民検討会議へ情報提供**

- * **市民検討会議への参加**

- * **職員ワーキンググループ提言書作成**

職員ワーキンググループの視点

私たちが望む
これからの旭川は
どんなまち？

実現するために
特に力を入れることは？

1 中・長期的戦略テーマ

将来を見据えた戦略的な取組

2 地域自治について

「地域力」の向上のために

3 行財政運営について

市民のための市役所であるために

1 中・長期的戦略テーマ

課 題

テーマ

旭川市の課題は
何だろう…？

少子化の抑制

安心して子育てが
できる環境の実現

高齢者が活躍できる
場所の確保

何歳になっても
活躍できるまちの実現

経済活性化

ブランド都市
「あさひかわ」の実現

1-1 安心して子育てができる 環境の実現

核家族化

地域との
つながりが
希薄

頼れる人がいない！

子育てに対する
不安・ストレスの軽減

① 待機児童早期解消

② 放課後居場所づくり

③ 子育て支援企業応援

④ 市長からの手紙

⑤ 子育て博士育成



1-2 何歳になっても活躍できる まちの実現



① 高齢者生きがいづくり 総合支援

働きたい高齢者の応援

② 放課後居場所づくり(再) 世代間交流

③ 高齢者長期滞在・スキル 取込

旭川市の底上げ・
口コミの波及効果

1-3 ブランド都市「あさひかわ」の実現

経済の活性化



今あるものを生かした取組



情報発信の強化



「旭川市」の名前を
ブランド化・付加価値化

① シティプロモーション推進

一人一人が「あさひかわ」の
セールスマン！

② 「食」のプロモーション

Yes ! Cleanで
商品開発
・販路拡大！



2 地域自治について



2-1 誰もが参加できる地域まちづくり の推進

自治組織の担い手
不足の解消



人材育成
地域の主体性



子どもや親世代を巻き込んだ
持続可能な地域自治

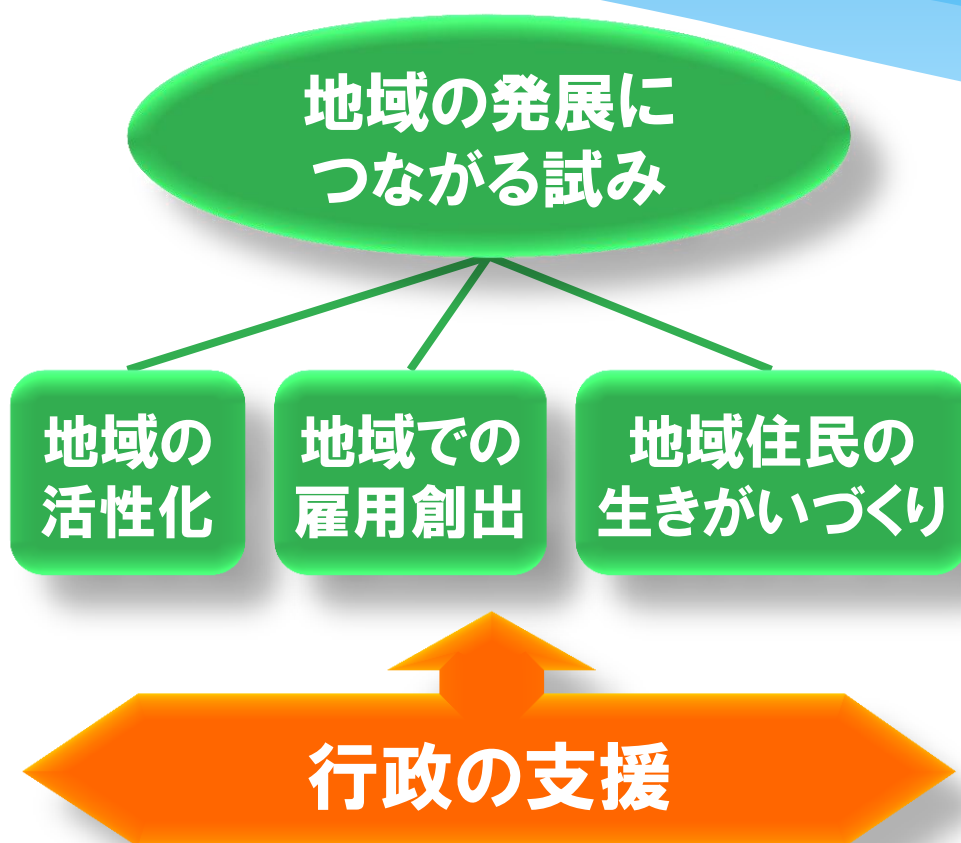


① 地域住民組織への
子ども参画



② 地域特性を生かした
町内会加入メリットの
アピール

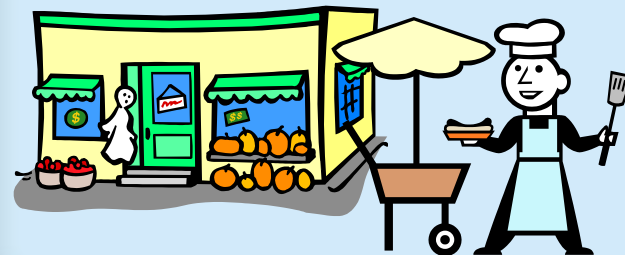
2-2 地域特性を生かした地域まちづくりの推進



① 起ち上げ支援

② 活動支援

③ コミュニティビジネスへのステップアップ支援



2-3 効率的かつ最適な地域自治拠点の整備

旭川市の人口
2040年⇒25万人

市有施設の
整理・統合

地域自治拠点を
計画的に整備

① 市有施設の適正化計画策定

地域住民・
利用者の
意見を反映



② 多様な形態による拠点づくり



旧校舎の
再利用等

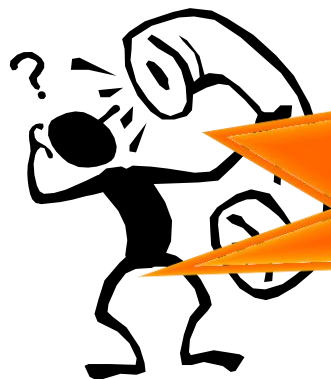
3 行財政運営について

市民側

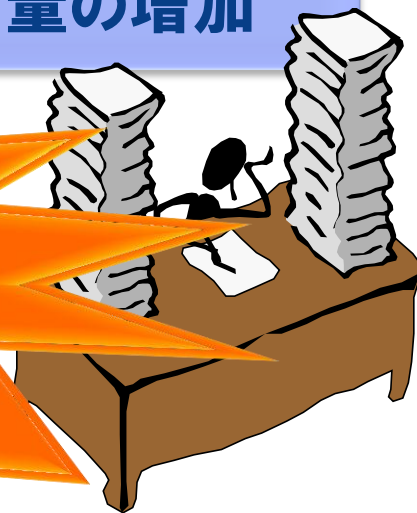
情報が分かりにくい
もっと市民の協力を得るべき
手続等が「煩雑」「不便」

行政側

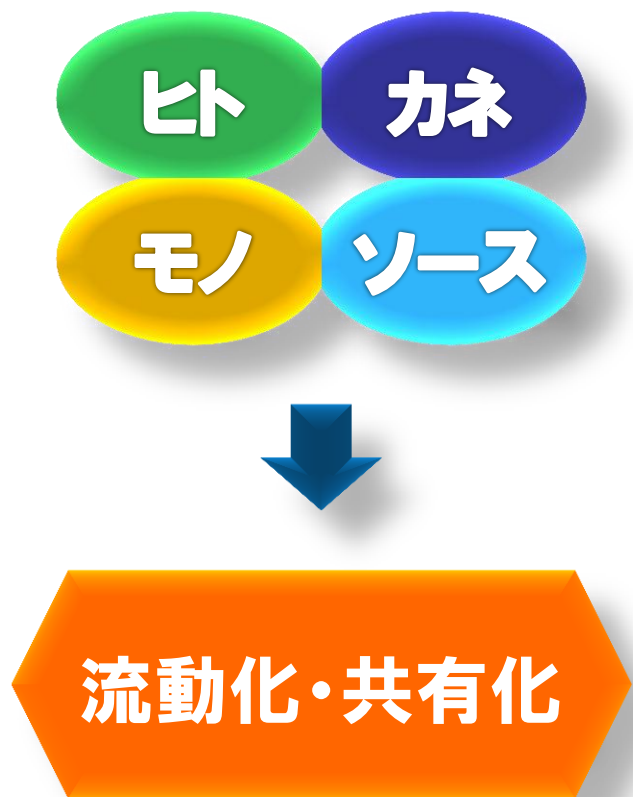
厳しい財政
職員の削減
仕事の質・量の増加



「市民の満足度の向上」
「効率的・効果的な運営」
が必要！！



3-1 組織力を高め、効率的な行政運営を行います

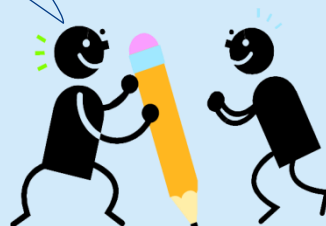


① 複合施設におけるヒト・カネの有効活用

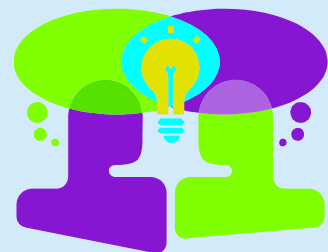


② モノの共有

使い終わった
からあげる



③ ソースの共有



情報やノウハウは
共有

3-2 「分かる・見える・伝わる」行政を運営します

市の情報は
分かりにくい

もっと市民の
協力を得るべき

市民との情報共有

まちづくりを考える
積極的な市政への参加

① 新しい情報発信手段
の活用

② 分かりやすい市政情報の
発信

③ 対応結果公表の推進

④ 欲しい情報にたどり着き
やすいホームページ

3-3 快適で利便性の高い市役所を目指します



高い利便性
ストレスのない
市役所

① 部局間での
協力体制の
強化・推進

② フレキシブル
な対応



③ 手続の
簡素化

おわりに

つながる輪あさひかわ

実現できるか

効果があるか

